

瀬谷のさくら巡り

日 時：3 月 27 日（土）

コース：三ツ境駅(WC)→楽老峰公園→武相国境（野境道路）→（中原街道）→矢指谷遺跡跡→瀬谷市民の森
→瀬谷みはらし公園（WC）→海軍道路→若宮八幡宮（解散 12:30 分頃）（約 6 km）

No.	見 所	由 来 ・ 史 跡
1.	三ツ境駅	大正 15 年（1926）5 月に厚木～二俣川間の神中鉄道（現 相模鉄道）開通とともに設けられました。瀬谷駅も同時に設けられました。
2	楽老峰 （楽老南公園）	古くは美屋古山と云い、頂上は鎌倉台と呼ばれて狼煙台か物見台が築かれていた。慶長 18 年（1613）徳川家康が駿府への旅の途中、この地で休息し、地元民からの湯茶の接待を受け、お礼に茶種 2 俵を受けて生産し、茶所として繁栄したと云われています。
3	武相国境 （野境道路）	瀬谷区と旭区の境界で、昔は相模国と武蔵国の国境で、相模の雨は境川に入り相模湾に、武蔵の雨は帷子川から東京湾に流れる分水嶺。この道路は「さくら通り」とも云われ、瀬谷高校入口まで約 2 km に約 120 本のソメイヨシノ桜並木が続いています。
4	中原街道	古くから開けた道であり、小田原北条氏は関東支配の駅路として利用した。天正 18 年（1590）家康はこの道を通り江戸に入府。東海道制定後は脇往還として整備し鷹狩りによく使用された。瀬谷は街道沿いに「日野役所」「高札場」「問屋場」がありました。江戸時代には沿道地域の物産を江戸へ運ぶ輸送路でした。別名御酢街道とも呼ばれていました。
5	矢指谷遺跡跡 （やさしやと）	昭和 59 年（1984）に聖マリアンナ医科大学病院を建設するにあたり発掘調査され、先土器時代から縄文時代早期・前期の石器などが発見されました。
6	瀬谷市民の森	昭和 51 年（1976）4 月開園。旭区との境に広がる森林地帯の一部で、山林所有者の好意により解放された、区内一の公園である。スギやヒノキ、クヌギなどを植林し、池やアスレチック、広場等、木々に囲まれた市民の憩いの場となっています。
7	瀬 谷 みはらし公園	平成 30 年 4 月 1 日開園。少年サッカーなどを行うことができる多目的広場、幼児や児童のための遊具を備えた遊具広場、高齢者など大人を対象とした健康器具広場、公園を周回できるジョギングコースなども備えており、公園名の由来となった築山「みはらしの丘」からは、晴天時には富士山を望むこともできます。
8	海軍道路	第二次大戦下に、旧日本海軍施設へ軍需物資を運搬するため、瀬谷駅から八王子街道に向け一直線に、専用蓄電池機関車の引込線が敷設された。戦後、引込線は廃止され、昭和 52 年（1977）、横浜市の愛称道路制度により、環状 4 号線のうち瀬谷中学校交差点付近から八王子街道に至る約 2,850m について、「海軍道路」と呼ばれるようになった。この直線道路に桜並木が続き桜の名所となっています。
9	農業専用地区	都市農業の確立と都市環境を守ることを目的とした、横浜市独自の農業振興策で、集団的な農地等を農業専用地区に指定し、農業振興策を実施することにより、農地の保全を図っています。新鮮な農産物を市民に提供する、地域の自然や田園環境を保全する、災害から市民を守る防災空間となる。市内の農業専用地区は 28 カ所あり、上瀬谷（92ha）は 16 番目に登録されました。
10	若宮八幡宮	創建は永禄年間（1558～1569）頃、善昌寺と同じ武田の一族岩崎家の建立。八幡神社は一般的に応神天皇を祀っているが、若宮八幡宮は応神天皇の第二王子を祭神としている。五貫目・目黒・上瀬谷・竹村・中屋敷地区の鎮守で、建物が老朽したので昭和 10 年（1935）に現在の社殿が新築された。東名高速道路建設のため、昭和 43 年（1968）に現在地にコロ引きで移転しました。

*本コースは道が狭く、車両の多いところを歩きます、安全確保にご協力願います。

次回案内： 横浜港から横浜の歴史をたどる （約 6 km）

4 月 17（土）JR 桜木町駅南口改札前 9 時 00 分～15 分受付

会員募集中！ *問合わせ先：せや・ガイドの会 竹見（☎ 090-3900-6469）まで

ホームページ「せや・ガイドの会」【検索】<http://www7b.biglobe.ne.jp/seya-guide/index.html>